

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総合福祉課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	15 民生費	項	5 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
事業番号	76	事業名	社会福祉総務費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域住民			総合計画における位置づけ 16 困った時に困ったと言い合える関係性をつくろう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	民生委員法及び児童福祉法に定める民生児童委員の負担を軽減し、かつ新たな担い手となる人材を育成することにより、住民福祉の推進を図る。			所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					健康・長寿・福祉のまちづくり	
					根拠法令・要綱等	
		民生委員法、児童福祉法 大山町民生委員協力員設置要綱				
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
125,188	△ 3,684				16	△ 3,700
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
【補正理由】 ・人件費の執行見込みによる補正 ・地域福祉基金積立金 各基金残高に応じた基金運用利息の再配分による増				職員手当等 扶養手当 △ 200千円 通勤手当 △ 100千円 期末手当 △ 700千円 勤勉手当 △ 1,850千円 共済費 共済組合負担金 △ 850千円 積立金 地域福祉基金積立金 16千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称			補正前の額	補正額	補助率等
65-5-2-1-1	地域福祉基金利子			255	16	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総合福祉課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	15 民生費	項	5 社会福祉費	目	6 同和対策施設費	
事業番号	101	事業名	人権交流センター運営事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域住民及びその周辺住民			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う。			09 すべての人がかけがえのない存在として大切にされるまちをつくろう	
					所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					町民みんなが暮らしやすいまちづくり	
				根拠法令・要綱等		
				隣保館運営設置要綱		
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
63,908	△ 7,669		△ 1,791		△ 5,878	
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
1. 人事異動等による人件費の執行見込みによる減額。			報酬	△ 3,662千円		
2. 光熱水費の執行見込みによる増額。			給料	△ 1,789千円		
年間見込み額 2,240,000円			通勤手当	△ 181千円		
予算額 -2,000,000円			期末手当	△ 985千円		
補正額 240,000円			勤勉手当	△ 1,074千円		
3. 経年劣化した公用車1台を購入更新する。			共済組合負担金	△ 566千円		
車両代 1,398,210円			社会保険料	△ 766千円		
納車手数料 41,740円			雇用保険料	△ 46千円		
自賠責保険料 18,040円			光熱水費	240千円		
重量税 9,900円			手数料(公用車購入分)	42千円		
			保険料(公用車購入分)	19千円		
			使用料及び賃借料	△ 210千円		
			備品購入費(施設備品購入分)	△ 100千円		
			備品購入費(公用車購入分)	1,399千円		
			自動車重量税	10千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
60-10-10-5-80	市町村創生交付金		1,791	△ 1,791	1/2	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総合福祉課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	15 民生費	項	5 社会福祉費	目	7 障害者福祉費	
事業番号	750	事業名	地域生活支援事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	障がいのある方など	総合計画における位置づけ			
			17 障がいのあるなしに関わらず、自分らしい暮らし方を楽しめるまちにしよう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	障がいのある方などが、地域で安心して生活できるよう事業を実施する。(事業終期は設定困難)	所信表明の「5本柱」における位置づけ			
			健康・長寿・福祉のまちづくり			
			根拠法令・要綱等			
			障害者総合支援法			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,368	313					313
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 ●負担金 実績見込みに対し当初予算額では予算不足のため。 西部広域負担金(障害区分認定審査会) 933千円(必要額)-916千円(当初予算額)=17千円(補正額) ●償還金利子及び割引料 補助金の額確定により、過年度分の補助金の返還が必要のため 《過年度県支出金返還金》 令和5年度鳥取県地域生活支援事業補助金返還金 296千円			18-1負担金 17千円 22-1償還金利子及び割引料 過年度県支出金返還金 296千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称	補正前の額	補正額	補助率等		

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総合福祉課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	15 民生費	項	5 社会福祉費	目	7 障害者福祉費	
事業番号	806	事業名	障害者自立支援事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	障がいのある方など			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	障がいのある方が地域で安心して生活できるよう 障害福祉サービス、自立支援医療の給付を行う。 (事業終期は設定困難)			17 障がいのあるなしに関わらず、自分らしい暮らし方を楽しめるまちにしよう	
					所信表明の「5本柱」 における位置づけ	
					健康・長寿・福祉のまちづくり	
					根拠法令・要綱等	
					障害者総合支援法など	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
554,020	11,270					11,270
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
【補正理由】 障害福祉サービス等の補助金の額確定により、過年度分の補助金の返還が必要なため ●過年度国庫支出金返還金 令和5年度障害者自立支援給付費等国庫負担金返還金 4,926,800円 令和5年度障害者医療費国庫負担金返還金 2,573,925円 ●過年度県支出金返還金 令和5年度鳥取県障害者自立支援給付費等負担金返還金 2,463,401円 令和5年度鳥取県障害者医療費負担金返還金 1,305,055円				22-1償還金利子及び割引料 過年度国庫支出金返還金 7,501千円 過年度県支出金返還金 3,769千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称			補正前の額	補正額	補助率等

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総合福祉課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	15 民生費	項	10 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
事業番号	854	事業名	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	小児慢性特定疾患児			総合計画における位置づけ 17 障がいのあるなしに関わらず、自分らしい暮らし方を楽しめるまちにしよう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	小児慢性特定疾患児が日常生活を営む中で生じる社会的な障壁を緩和し、生活向上を図る。			所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					健康・長寿・福祉のまちづくり	
					根拠法令・要綱等 大山町小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業実施要綱	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
191	116	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源 116	
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 令和5年度補助金の額確定により過年度返還金が生じたため ●過年度県支出金返還金 令和5年度交付決定額:116,000円 令和5年度実績報告額:0円 返還金116,000円			22-1償還金利子及び割引料 過年度県支出金返還金 116千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総合福祉課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	15 民生費	項	10 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	
事業番号	1119	事業名	障害児通所給付費等			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	障がいを抱える子ども及びその保護者			総合計画における位置づけ 17 障がいのあるなしに関わらず、自分らしい暮らし方を楽しめるまちにしよう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害児や家族にとって身近な地域で必要な発達支援を受けることができ、利用料についての経済的負担を軽減することができる。			所信表明の「5本柱」における位置づけ 健康・長寿・福祉のまちづくり	
				根拠法令・要綱等		
				大山町障害児通所給付費等の支給に関する規則		
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
60,690	557				557	
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 令和5年度障害児通所給付費の額確定により過年度返還金が生じたため ●過年度国庫支出金返還金 令和5年度交付決定額:24,700,000円 令和5年度実績報告額:24,329,345円 返還金370,655円 ●過年度県支出金返還金 令和5年度交付決定額:12,350,000円 令和5年度実績報告額:12,164,672円 返還金185,328円			22-1償還金利子及び割引料 過年度国庫支出金返還金 371千円 過年度県支出金返還金 186千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：総合福祉課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	15 民生費	項	10 児童福祉費	目	4 児童福祉施設費	
事業番号	131	事業名	あすなろ児童館			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	障がいを抱える子ども及びその保護者			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	障害児や家族にとって身近な地域に必要な発達支援を受けることができ、利用料についての経済的負担を軽減することができる。			17 障がいのあるなしに関わらず、自分らしい暮らし方を楽しめるまちにしよう	
					所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					健康・長寿・福祉のまちづくり	
					根拠法令・要綱等	
大山町障害児通所給付費等の支給に関する規則						
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,032	19,415			18,400		1,015
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
<p>【補正の理由】</p> <p>【旧押平児童館解体工事関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧押平児童館解体工事に伴うアスベスト含有調査業務委託を行うものである。 業務委託概算予算 385,000円 旧押平児童館解体に伴う不要物品(産業廃棄物)の処分を委託する。 産業廃棄物処分委託料 1,210,000円 旧押平児童館が老朽化して危険のため解体するものである。 旧押平児童館解体工事概算予算 17,820,000円 			<p>(節)12委託料</p> <p>(細節)1委託料</p> <p>(押平児童館アスベスト調査) 385千円</p> <p>(産業廃棄物処分委託料) 1,210千円</p> <p>(節)14工事請負費</p> <p>(細節)1工事請負費</p> <p>(押平児童館解体工事) 17,820千円</p>			
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
90-5-15-20-5	旧押平児童館解体事業		0	18,400	95%	